第18回建築コンクール

公益社団法人愛知建築士会名古屋北支部主催

不確かな建築

不確かとは。ぼんやり、曖昧なこと。
私たちは、絶対的な答えを求めているわけではない。
答えの先は、とても広がりがあり、多様であるはず。
不確かであるからこそ、未来がある。

作品募集

テーマ	不確かな建築
最優秀賞	賞金20万円
応募方法	データメール送付＆A2パネル郵送
応募締切	2026年12月20日(日) 当日メール着信および消印有効

開催日時 審査・シンポジウム

日時	2027年2月6日(土) 12:30-17:00
会場	ITOKI NAGOYA DELA 名古屋市中区栄4-15-32 日建住生ビル1F

▶ しぶチャン【愛知建築士会名古屋北支部】にてライブ配信予定

審査員 シンポジウム・パネラー

建築家	堀部安嗣
建築家	木村吉成
書　家	渡部裕子

建築コンクール公式Webサイト
kitashibu.org/kenchiku-concours
応募方法、シンポジウム及び公開審査の観覧申し込み等の詳細は公式WEBサイトをご確認ください。

後援/ 愛知県、名古屋市、(株)中日新聞社、(公社)日本建築士会連合会、(公社)愛知建築士会、(公社)愛知県建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会東海支部、(株)中部経済新聞社

公益社団法人
愛知建築士会 名古屋北支部

みんなのあしたをつくろう

第18回建築コンクール

公益社団法人愛知建築士会名古屋北支部主催

不確かな建築

不確かとは。
ぼんやり、曖昧なこと。
私たちは、
絶対的な答えを
求めているわけではない。
答えの先は、
とても広がりがあり、
多様であるはず。
不確かであるからこそ、
未来がある。

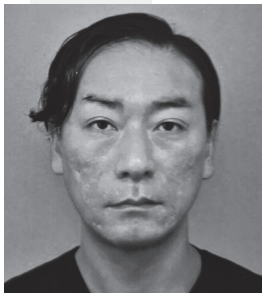
審査員 シンポジウム／公開審査



©Tetsuya Ito

建築家
堀部安嗣

1967年横浜市生まれ。
1990年に筑波大学芸術専門学群環境デザインコース卒業後、益子義弘に師事し、1994年に堀部安嗣建築設計事務所を設立。
主な建築作品に「南の家」「阿佐ヶ谷の書庫」「竹林寺納骨堂」、客船「ガンツウ」などがある。2002年に「牛久のギャラリー」で吉岡賞、2016年に「竹林寺納骨堂」で日本建築学会賞（作品）、2021年に2020毎日デザイン賞を受賞。
教育分野では、京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）大学院教授を務めた後、2022年より放送大学教授に着任。
『堀部安嗣作品集』や『建築と利他』など多数の著書も手掛けている。



建築家
木村吉成

大阪芸術大学准教授
北海道科学大学客員教授
1973年和歌山県生まれ。大阪芸術大学芸術学部建築学科卒業後、狩野忠正建築研究所を経て、2003年に木村松本建築設計事務所を松本尚子と共同設立。
主な受賞歴にJIA新人賞、新建築吉岡賞、JIA関西建築家新人賞、藤井厚二賞など。
主な著書に、住宅設計原寸図集（オーム社）など。



書家・立体書アーティスト
渡部裕子

漢字一字書と墨象を主軸に、書の可能性を追求。平面から立体、そして空間へと書道表現の領域を広げている。2003年には、立体物の側面に揮毫した作品を積み重ね、書によって空間を形成する独自の「立体書」を発表。独特な余白や光と影をも作品の要素とし、視点や空間によって印象や捉え方を変化させる表現を重要視している。タワーホテルナゴヤや下呂温泉小川屋など商業施設のアートワーク、金シャチ横丁などのロゴ、世界各国でおこなうパフォーマンスなど幅広く活動。2014年南オーストラリア州立美術館に立体書11点が永久収蔵される。鈴鹿墨、豊橋筆、美濃和紙など東海地方の宝を用いて生み出す大胆さと繊細さが混在する作品が特徴。

作品募集

テーマ —— 不確かな建築

最優秀賞 —— 賞金20万円

応募方法 —— データメール送付&A2パネル郵送

応募締切 —— 2026年12月20日（日）
当日メール着信および消印有効

開催日時 シンポジウム同時開催

シンポジウム／公開審査 —— 2027年2月6日（土）12:30～17:00

会場 —— ITOKI NAGOYA DELA 名古屋市中区栄4-15-32 日建住生ビル1F

YouTube しぶチャン【愛知建築士会名古屋北支部】にてライブ配信予定

建築コンクール公式Webサイト

応募方法、シンポジウム及び公開審査の観覧申し込み等の詳細は公式WEBサイトをご確認ください。 https://www.kitashibu.org/kenchiku-concours

公益社団法人 愛知建築士会
名古屋北支部建築コンクール事務局
〒461-0014 名古屋市東区橦木町3-58（株）加藤設計内
TEL 052-931-6671

公益社団法人
愛知建築士会 名古屋北支部

みんなのあしたをつくろう